

第8回 ('14年12月12日 : Keywords ... 表現行列、基底の変換行列)

$\mathbb{K}$ をあるスカラーとして、以下の場合において係数は全て固定して考える。

8-1. 表現行列 ... $F : V \rightarrow W$ を線形写像とする. V, W の基底をそれぞれ、 $\mathbf{v}_1, \dots, \mathbf{v}_n, \mathbf{w}_1, \dots, \mathbf{w}_m$ とする. このとき、 $(F(\mathbf{v}_1), F(\mathbf{v}_2), \dots, F(\mathbf{v}_n))$ の $\mathbf{w}_1, \dots, \mathbf{w}_m$ による表示行列のことを f の表現行列という. つまり、

$$(F(\mathbf{v}_1), F(\mathbf{v}_2), \dots, F(\mathbf{v}_n)) = (\mathbf{w}_1, \dots, \mathbf{w}_m)A$$

と書いたときの A が F の表現行列である.

8-2. 表現行列と基底変換 ... $\mathbf{v}_1, \dots, \mathbf{v}_n$ から $\mathbf{v}'_1, \dots, \mathbf{v}'_n$ への基底の変換行列を P 、 $\mathbf{w}_1, \dots, \mathbf{w}_m$ から $\mathbf{w}'_1, \dots, \mathbf{w}'_m$ への基底の変換行列を Q とする. このとき、 $\mathbf{v}_1, \dots, \mathbf{v}_n, \mathbf{w}_1, \dots, \mathbf{w}_m$ に関する表現行列を A とし、 $\mathbf{v}'_1, \dots, \mathbf{v}'_n, \mathbf{w}'_1, \dots, \mathbf{w}'_m$ に関する基底の変換行列を B とすると、以下の等式が成り立つ.

$$B = Q^{-1}AP$$

となる.

今日の課題.

1. 表現行列はどのように計算するか.
2. できれば基底の変換行列との関係もおさえる.

A-8-1. [線形写像]

次の写像は線形写像を与えているか?

$$(1) F : V = \left\langle \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ -3 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ -1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 2 \\ 3 \\ 0 \end{pmatrix} \right\rangle \rightarrow \mathbb{R}^3, F\left(\begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ -3 \end{pmatrix}\right) = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}, F\left(\begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ -1 \end{pmatrix}\right) = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ -1 \end{pmatrix}, F\left(\begin{pmatrix} 2 \\ 3 \\ 0 \end{pmatrix}\right) = \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}$$

$$(2) F : V = P(\mathbb{R})_2 \rightarrow V, F(f(X)) = f(1-X) + f(X)$$

B-8-1. [表現行列]

以下の線形写像 F に対して指定の基底を使った表現行列を求めよ.

$$(1) F : \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}^3, F(\mathbf{v}) = \begin{pmatrix} 2 & 1 \\ 1 & 0 \\ 4 & 3 \end{pmatrix} \mathbf{v}, \{e_1, e_2\}, \{e'_1, e'_2, e'_3\} \text{ それぞれ標準基底}$$

$$(2) F : \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}^2, F(\mathbf{v}) = \begin{pmatrix} 7 & -6 \\ 3 & -2 \end{pmatrix} \mathbf{v}, \left\{ \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 2 \\ 1 \end{pmatrix} \right\}$$

$$(3) F : \mathbb{R}^3 \rightarrow \mathbb{R}^2, F(\mathbf{v}) = \begin{pmatrix} 2 & 4 & 1 \\ 1 & -1 & 0 \end{pmatrix} \mathbf{v}, \left\{ \begin{pmatrix} 2 \\ 0 \\ 3 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix} \right\}, \left\{ \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 2 \\ 3 \end{pmatrix} \right\}$$

$$(4) F : P(\mathbb{R})_2 \rightarrow P(\mathbb{R})_2, F(f(X)) = 2f'(X) + 3f(X), \{1, X, X^2\}$$

B-8-2. [表現行列]

線形写像 $F : \mathbb{C}[X]_2 \rightarrow \mathbb{C}[X]_2$ を

$$F(a + bX + cX^2) = a + b + c + (a - b + c)X + (-a + b - c)X^2$$

とするとき、 $\mathbb{C}[X]_2$ の基底 $\{1, X, X^2\}$ に関する F の表現行列を求めよ。

B-8-3. [微分が与える線形写像]

$\partial_X : P(\mathbb{C})_2 \rightarrow P(\mathbb{C})_2$ を X に関する微分が与える写像とする。つまり、 $\partial_X(f(X)) = df(X)/dX$ 。このとき、 $P(\mathbb{C})_2$ の適当な基底を選ぶことで、 ∂_X の表現行列を求めよ。

B-8-4. [核を求めること]

次の写像 $F : \mathbb{C}[X]_3 \rightarrow \mathbb{C}[X]_2$ の核 ($\text{Ker}(F)$) の基底を求めよ。

$$F(f(X)) = f(-X) - f(2-X)$$

B-8-5. [線形写像の合成]

線形写像の合成も線形写像であることを示せ。また、同型写像の合成も同型写像であることを示せ。

C-8-1. [表現行列]

$\mathbb{C}^3$ の基底 $\{^t(1, 2, 1), ^t(-1, 0, 1), ^t(0, 0, 1)\}$ に対して、線形写像

$$F : \mathbb{C}^3 \ni \mathbf{x} \mapsto \begin{pmatrix} -1 & 1 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 3 & -2 & 2 \end{pmatrix} \mathbf{x} \in \mathbb{C}^3$$

の表現行列を求めよ。

C-8-2. [基底の変換行列と表現行列]

線形写像を以下のように定義する。

$$F : P(\mathbb{R})_2 \rightarrow P(\mathbb{R})_2, F(f(X)) = f'(X)X + f(0)X^2 + f(1)$$

このとき、以下を求めよ。

- (1) $S = \{1, X, X^2\}$ としたとき、 F の表現行列はどのように計算されるか？
- (2) $T = \{1+X, X+X^2, X^2\}$ としたとき、 S から T への基底の変換行列を求め、 T による F の表現行列を求めよ。

C-8-3. [フィボナッチ数列]

フィボナッチ数列全体のなすベクトル空間

$$V = \{(x_n) \in \mathbb{C}^\infty \mid x_{n+1} = x_n + x_{n-1} (n \geq 2)\}$$

を考える。 V の元を数列 $(x_1, x_2, x_3, \dots)$ のように表したとき、次のような数列のシフト写像

$$f : (a_1, a_2, a_3, a_4, \dots) \mapsto (a_3, a_4, a_5, a_6, \dots)$$

を V の適当な基底を使って表現せよ。

(ヒント：初項と第2項が $(1, 0), (0, 1)$ となるような2つのベクトルを基底として考えてみよ。)

ホームページ：<http://www.math.tsukuba.ac.jp/~tange/jugyo/2014jugyo/senkei14.html>

(主にプリントのダウンロード用)

blog：<http://motochans.blogspot.jp/> (授業内容など)

手習い塾：水曜 5,6 限 1E403 にて数学の質問を受け付けています。

以上の問題について悩んだり困ったりした場合は：今一度、ぜひご相談ください。まずはメールにて。